

## プログラム



会員卓話

広井 永吉 会員  
(昭和6年生れ)  
(平成12年5月入会)

まず、自己紹介をいたします。

昭和34年8月LPガス事業を開業する。  
平成10年4月和歌山県LPガス協会の役員に就任  
平成13年4月県協会の副会長になる。  
平成19年5月23日県知事表彰を受ける。

ロータリーは平成12年頃、元クラブ会長の高橋武雄氏に勧められて入会しました。

### ■RI会長メッセージ■

「ロータリーの徽章をいつもあなたの襟に」

田中 作次 2012-13年度RI会長  
八潮RC (第2770地区 埼玉県)

私は日本人ビジネスマンであり、ほぼ毎日、背広を着用します。そして襟には必ずロータリーの徽章を着けています。それは、ロータリアンであることに誇りを感じているからです。ロータリーの徽章を着けていれば、どこへ行っても、誰が見ても、私がロータリアンであることは一目瞭然です。それを目にした人がロータリアンであれば、私が友人だとわかるでしょう。徽章は、ロータリアン以外の人の目にも留まります。それらの人たちみんなに、この徽章の意味を理解してほしいと思っています。

### ロータリアンの自覚を促すロータリーの徽章

そんなわけで、私は皆さんがロータリーの徽章を着け、その意味の認識を広めてくださるようお願いしています。徽章を着ければ心構えが変わる、と私は信じています。言葉を選び、行動に気を配るようになるでしょう。そして何よりも、世の中のためのロータリアンであるという自覚を持つようになるでしょう。

私たちは常に、ロータリーについて人々に伝える用意をしておくべきです。誰かにロータリーの徽章のことを尋ねられたら、すぐに答えられるようにしておきましょう。ロータリーとは何ですか？ ロータリーは何をする団体ですか？ このような質問に対して、私たち一人ひとりが明確に答えられる心構えをしておくことが大切です。

会員を増やしたい、という理由だけでは、会員候補者のところへ行って、入会するよう頼むわけにはいきません。私たちはその人に、ロータリーが本当に素晴らしい団体であり、ロータリークラブに入ることでより幸せになれることを伝えなければなりません。

### 自分がロータリーから受けた恩恵を伝えるために

ロータリーに入会するよう人に勧めることは、その人のためになることでもあります。私たちは皆、ロータリーへの入会を勧めてくれた人に感謝していると思います。私自身も、ロータリーのおかげで、人生がより幸せで、実り多いものとなりました。八潮ロータリークラブに入会した日が、人生においてそれまでとは異なった方向に歩む第一歩となった日であることは間違いありません。その日から私は、人とのつながりがさらに広がり、より満足が得られ、充足感と平和に対するより深い意識を求めるようになったのです。

私はいつも、この気持ちをぜひほかの人たちに伝えたいと思っています。新会員を連れてくるのもその方法の一つです。ただしそれは、ロータリーとその活動の認識を高めることで、また、ロータリーの公共イメージに焦点を当て、日々、ロータリーの徽章を着用することでも、実践されなければならないと思います。

### ■ロータリーとは■

「ロータリーの誕生とその成長」

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、シカゴに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスは、この風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは、集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。それからは志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を越え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,404、会員総数1,230,551人(2012年5月31日RI公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

「日本のロータリー」

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・

ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長のチェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後の、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,289、会員数は88,789人(2012年10月末現在)となっています。

#### (ロータリーの友1月号横版 P1・P4 掲載)

田辺クラブの職業奉仕・社会奉仕・親睦活動を主体にしている事に大変共鳴しました。

近頃、特に先輩の職業奉仕の様子を目にして強く感動致しました。

ロータリーの良さを今、ハッキリと感じるようになり知り合いにクラブの入会を勧めており、これからも勧めていきます。



会員卓話  
「ロータリーに思う」

鈴木 和夫 会員  
(昭和8年生れ)  
(昭和52年6月入会)

私が入会した頃は、同年代の会員が少ない方で、殆ど年配者でした。例会時には成るべく先輩方の席に座るようにとの事で、会話もして色々教わる事が出来ました。会話の中でロータリー用語が判らず大変苦労しました。1例として、RYLA(ロータリー青少年指導者育成プログラム)、GSE(研究グループ交換)、ファイヤーサイドミーティング(炉辺会談)、ポリオプラス(ポリオ撲滅活動)

入会間もなく会報委員会に配属され、現在のように卓話の原稿が頂けなかったので録音テープを聴きながら原稿を作り、写真はポラロイドカメラでした。特に漢字の間違いがあれば、よく指摘され良い勉強になりました。私の方は、小規模の商売なので例会日には約2時間抜けますので仕事の段取りをやり繰りして出席しました。

ロータリーの基本理念は、社会奉仕と親睦であり、プラスアルファとして、自己啓発と自己の向上心であろうかと思えます。最近お役所でもコスト意識に目覚め、費用対効果とか言われ行政改革の一つとしています。

我々は、昼間の貴重な時間と費用をかけての入会であるので、入ってよかったと思う様に自己研鑽しながら会員としての務めを果たしたいと思えます。又例会時には、入会の頃にはソングには驚きました。年配の方々と文部省推薦小学校唱歌や童謡を共に唄って、子供のころを思いホットな気分になりました。その当時父子会員は、四、五人在籍していました。私の父も会員であり、共に唄ったのも今では懐かしく思えます。又、父は例会時に心臓発作で倒れ、運良く会員にお医者さんが多数居られて適切な処置を受けて、以後20年余お陰様で八十八歳迄人生を楽しむことが出来ました。それでは本題に移りたいと思えます。

入会して2,3年してからですが何でも年配者から役を依頼されたら断る事が出来なかったので、地区委員会にピンチヒッターとして出席しました。各クラブの動向や会員との意見交換であり、物事に対しての考え方が良く判り大変勉強になりました。一例として会員増強の問題になりました。沢山の意見が出まして、量か質かで意見が分かれました。結局判断するのはあなたであり、クラブ全体で議論して考えなさいとの事が結論でありました。

地区委員会に出席する事は、ロータリアンとして最もよく知る機会だと痛感致しました。又、クラブ会長に就任時には、成田幹事・三谷副幹事が、私のパートナーとして、クラブ運営がスムーズにやって頂き感謝しています。その当時2640地区では色々な行事が沢山あり、先ず白浜田辺JC創立30周年記念式典、御坊南RC20周年記念例会、御坊東RCの認証式、橋本紀の川RCの認証式があり、我クラブは、目良かんぼで親睦委員会による、RCについての学習会があり、会員の意見交換会があり、お互いが良き勉強する事が出来ました。4月には田辺3クラブ会長と共に車で新宮RC40周年記念式典へ行き、和歌山クラブと田辺クラブがスポンサークラブとして私が乾杯音頭をとりました。式典終了後折り返し、その夜はハナヨホテルで1990年10月ベルリンの壁崩壊され東西が一つになって6年経過して来日したドイツ第1820地区のGSEチームをお迎えしての歓迎会があり、私田辺3クラブホストクラブ代表して歓迎スピーチしました。勿論あとにも先にもない通訳つきでした。通訳された方は田辺東クラブの隠岐先生のお嬢さんでした。スピーチの中で私の愛用カメラ(ドイツ製)のローライを皆様に披露しました処、大変喜ばれ、私はこのカメラローライと共に、いつか美しい国ドイツロマンチック街道を旅したいものだとスピーチしました処、ドイツ人特有の人懐こい、美男美女のあの美しい笑顔が忘れられません。まだ旅は実現できません。

人前でスピーチするには先ず準備でありトレーニングである事だと思えます。場数をこなして、貴重な体験と機会を与えてくれた事に大いに感謝申し上げます。

最後に先輩会員より言ってくれました一言。

常に言動に気を付けて、

人に思いやりのあるロータリアンであれ。  
有難う御座いました。

### 田辺ロータリーの歌

紺碧の海 寄せて返す波  
熱き心を持つ我らの仲間  
四つのテスト基にして  
共に歩まん田辺ロータリー

世界に誇る森に守られて  
熊野古道の街 ここがふるさと  
奉仕の理想掲げつつ  
共に歩まん田辺ロータリー  
共に歩まん田辺ロータリー

## 田辺ロータリークラブ創立60周年記念行事

- ・ 記念例会 平成25年4月18日(木) シェイクラザホテル  
講演 大阪ロータリークラブ会長 松澤佑次様  
(田辺市出身 現 住友病院院長)
- ・ 物故会員追悼 平成25年4月4日(木)午前10時 宝満寺
- ・ 記念ゴルフ 平成25年3月17日(日)  
白浜ゴルフ倶楽部(平草原)

